

今号から数回に分けて成木小学校の前身である第8小、第9小、第10小について掲載していきます。昭和30年(1955)、青梅市に吉野村、三田村、小曾木村、成木村の4か村が編入になったことをきっかけに校名にスクールナンバーが付けられるようになりました。その当時は算用数字(1・2・3…)が使われており、平成8年の条例改正を受けて平成10年4月から漢数字に変更されています。成木小学校は平成8年創立のため、この三校は正式に漢数字で記載されたことはなかったことになります。

<以前の学校1> 青梅市立第8小学校 1

明治6年(1873)に下成木下分の安楽寺に甘露学舎が設立、上成木下分の慈福寺に郷学支校を設けました。この2校が第8小学校の前身となります。

明治19年(1886)に尋常小学校となると、当時の尋常小学校は4年生まででしたが、高等小学校としてあと4年間学ぶことができました。

明治20年(1887)には高等小学校併設許可を正式に受けましたが、経済的な理由から明治24年(1891)に廃止となります。そのことを遺憾に思った当時の村長だった木崎雄蔵氏が、私財を投じて高等夜学校を作ろうとしました。

この村長の想いに賛同した村民たちが議会を動かし、全会一致で復活の可決がされたというドラマがあったそうです。

その後も尋常小学校卒業後の学びの場として農業補習学校や女子実業補習学校、青年訓練所などが併設されていきます。

『成木今昔物語4号』の吹上トンネルの話のときにも思ったのですが、教育や地域の発展のために知恵や

私財を出し合い、後世に残る偉業を成し遂げた先人の方々に驚かされるばかりです。自分のためではなく人のために動く成木の気質を子供たちにも伝えていきたいと思います。

【出典】青梅市教育史 1997 新たなる出発青梅市立第八小学校閉校記念誌 1996

青梅市文化財ニュース第365号 2018 第424号 2023

【監修】若林 博司 青梅市郷土資料館

明治6年(1873)	甘露学舎 (安楽寺)	郷学支校 (慈福寺)
明治9年(1876)	下成木学校 (安楽寺)	成木学校 (慈福寺)
明治12年(1879)	成木学校 (長全寺)	
明治14年(1881)	成木学校 (現在地)	
明治19年(1886)	神奈川県西多摩郡上成木 村立成木尋常小学校	
昭和16年(1941)	東京府西多摩郡 成木国民学校	
昭和18年(1943)	東京都西多摩郡成木村立 成木国民学校	
昭和22年(1947)	成木村立成木小学校	
昭和30年(1955)	青梅市立第8小学校	

